



2025年3月期 決算説明資料

2025年5月14日
広島電鉄株式会社

証券コード：9033



2025年3月期 連結経営成績



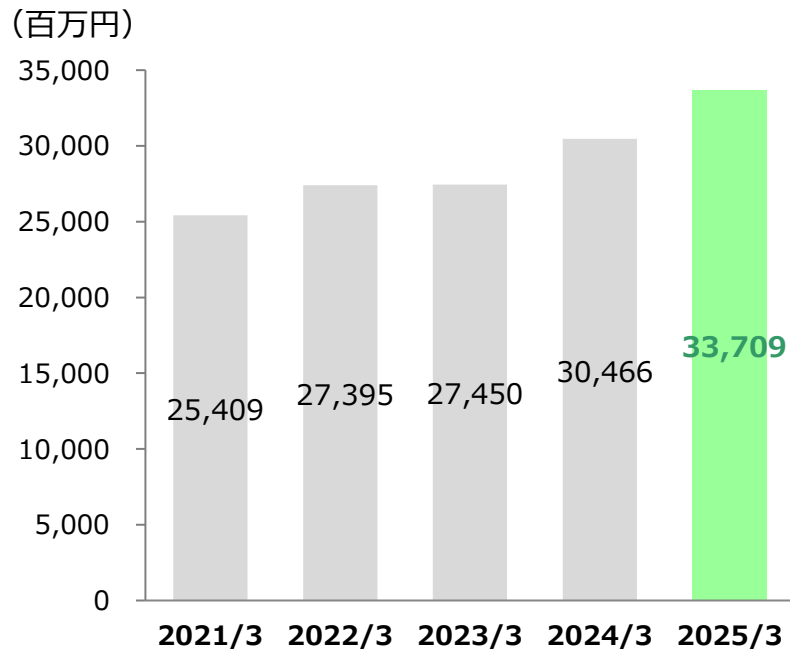
(百万円)

	2024/3期	2025/3期	増減 (%)	主な増減要因
売上高	30,466	33,709	+3,242 (+10.6)	来広するインバウンド客や国内旅行客の増加に加え、まちづくりへの参画等に取り組み、運輸業・流通業の収益が堅調に推移
営業利益	△1,088	△1,419	△331 (-)	建設業では、広島駅前大橋ルート整備事業の進捗や民間受注の建築工事の完了により、増収
経常利益	△970	△1,243	△273 (-)	人件費や修繕費等の費用の増加が影響し、営業損失・経常損失を計上
親会社株主に帰属する 当期純利益	656	1,379	+723 (+110.2)	特別損益は、前年度より「運行補助金」が減少したが、「減損損失」や「投資有価証券評価損」が減少したほか、「退職給付制度改定益」を計上したことにより改善 繰延税金資産の計上により、「法人税等調整額」が減少
1株当たり 当期純利益	21.61円	45.42円	+23.81円	

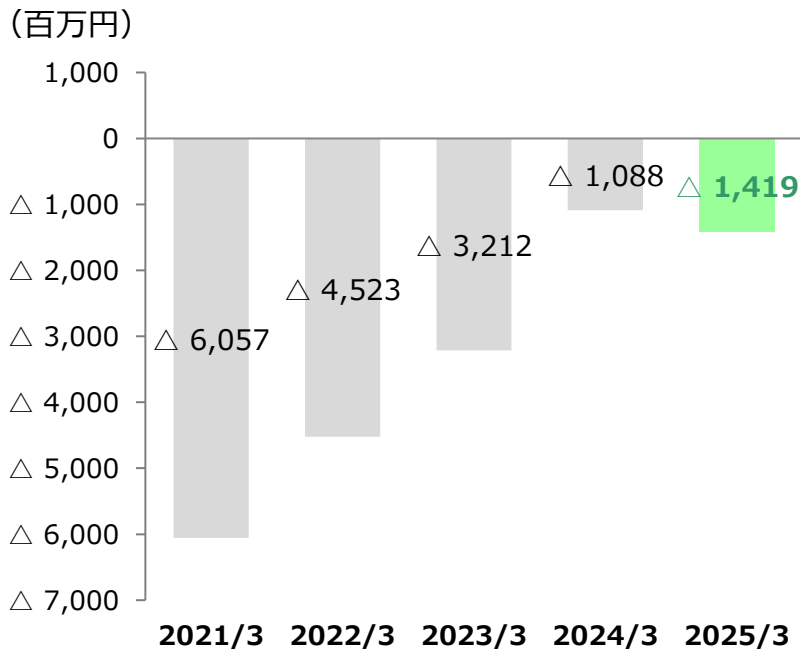
連結業績の推移（営業収益・営業利益）



営業収益



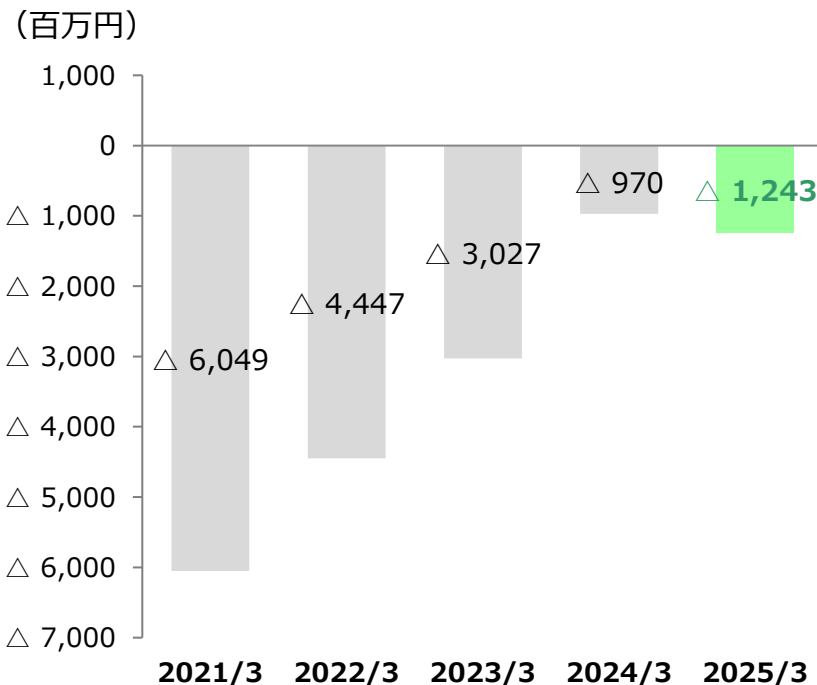
営業利益



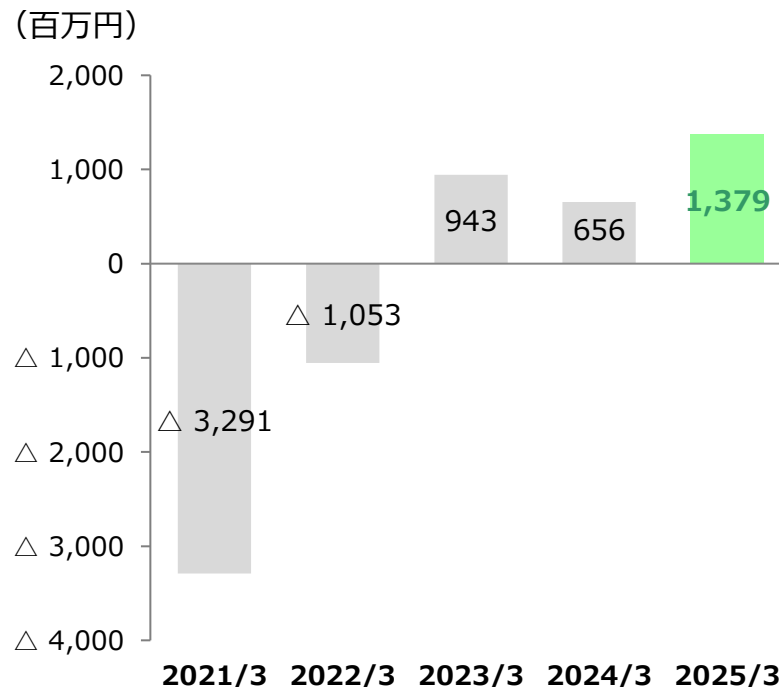
連結業績の推移（経常利益・当期純利益）



経常利益



親会社株主に帰属する当期純利益



		2024/3期	2025/3期	増減	主な増減要因					
流	動	資	産	15,843	16,444	+601	受取手形、売掛金及び契約資産+360 未成工事支出金+262			
固	定	資	産	82,554	87,637	+5,082	有形固定資産（工器備品他+2,023 建設仮勘定+1,843） 無形固定資産（ソフトウェア他+420） 投資有価証券+728			
資	産	合	計	98,398	104,082	+5,683				
	流	動	負	債	27,381	31,919	+4,537	短期借入金+1,464 未払金+2,389 前受金+706		
	固	定	負	債	29,410	29,400	△10	長期借入金△366 リース債務(長期)+361		
負	債	合	計	56,792	61,319	+4,527				
	株	主	資	本	15,476	16,867	+1,391	利益剰余金の増加		
	その他の包括利益累計額		25,171	24,852	△318	退職給付に係る調整累計額△274				
	非支配株主持分		958	1,041	+83					
純	資	産	合	計	41,605	42,762	+1,156			
負	債	純	資	産	合	計	98,398	104,082	+5,683	

連結損益計算書 (P/L)



	2024/3期	2025/3期	増減	主な増減要因	(百万円)
営 業 収 益	30,466	33,709	+3,242	運輸業+986 不動産業+604 建設業+2,567	
運 輸 業 等 営 業 費 及 び 売 上 原 価	25,454	28,538	+3,083	人件費+533 経費+1,074 諸税△35	
販 売 費 及 び 一 般 管 理 費	6,100	6,590	+490	減価償却費+216 売上原価+1,785	
営 業 損 失 (△)	△1,088	△1,419	△331		
営 業 外 収 益	367	460	+93	受取配当金+72	
営 業 外 費 用	249	284	+35	支払利息+30	
経 常 損 失 (△)	△970	△1,243	△273		
特 別 利 益	3,867	4,137	+269	工事負担金等受入額+638 運行補助金△547 退職給付制度改定益+207	
特 別 損 失	2,009	1,767	△242	固定資産圧縮損+668 減損損失△514 投資有価証券評価損△414	
税 金 等 調 整 前 当 期 純 利 益	887	1,126	+239		
法 人 税 ・ 住 民 税 及 び 事 業 税	129	114	△14		
法 人 税 等 調 整 額	△2	△467	△464	将来減算一時差異に係る繰延税金資産	
当 期 純 利 益	760	1,478	+718		
非支配株主に帰属する当期純利益	104	99	△5		
親会社株主に帰属する当期純利益	656	1,379	+723		

連結キャッシュ・フロー(C/F)



(百万円)

	2024/3期	2025/3期	増減	主な増減要因
営業活動によるキャッシュ・フロー	5,530	5,077	△452	営業損失の増加や、売上債権の増加
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,649	△ 5,568	△1,919	「MOBIRY DAYS」や広島駅南口広場再整備の進捗による設備投資支出の増加
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,363	604	+2,967	大型設備投資の増加等による有利子負債の増加
現金及び現金同等物の増減額	△481	113	+594	
現金及び現金同等物の期首残高	4,387	3,906	△481	
現金及び現金同等物の期末残高	3,906	4,019	+113	

	2024/3期	2025/3期	増減 (%)	主な増減要因
セグメント収益	20,021	21,008	+986 (+4.9)	鉄軌道事業・自動車事業では、広島市内での大型イベントの増加等による移動需要の活発化や、2025年2月1日の運賃改定の実施により、 増収 海上運送業・索道業では、2024年度の宮島来島者数が過去最多となり、特にインバウンド客の大幅な増加が寄与し、 増収
セグメント利益	△2,410	△3,110	△699 (－)	全般的に増収となった一方、費用面では人件費や修繕費の増加、大型設備投資に伴う減価償却費の増加が影響し、 減益
運 行 補 助 金	2,739	2,192	△547 (△20.0)	コロナ禍より受領していた運行補助金の減少
運行補助金を 含めた 損 益	328	△918	△1,246 (－)	

セグメント別経営成績②流通業



(百万円)

	2024/3期	2025/3期	増減 (%)	主な増減要因
セグメント収益	1,134	1,191	+56 (+5.0)	山陽自動車道の宮島サービスエリアにおいて、年間を通じて 高速道路の交通量とともに来店者も増加し、 増収
セグメント利益	18	4	△14 (△75.4)	原材料費の値上げや人件費等の経費の増加が影響し、 減益

セグメント別経営成績③不動産業



(百万円)

	2024/3期	2025/3期	増減 (%)	主な増減要因
セグメント収益	4,732	5,337	+604 (+12.8)	不動産賃貸業では、「イオンタウン楽々園」の土地の賃貸収入の計上等により、 増収増益
セグメント利益	1,207	1,584	+376 (+31.2)	不動産販売業では、分譲マンション「アンヴェール己斐本町」の物件引渡し等により、 増収増益

セグメント別経営成績④建設業



(百万円)

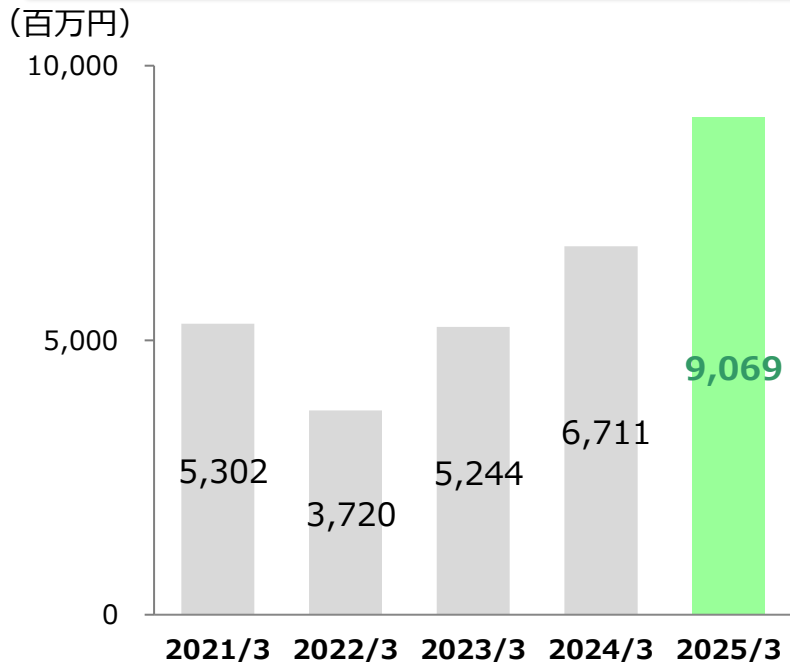
	2024/3期	2025/3期	増減 (%)	主な増減要因
セグメント収益	4,822	7,389	+2,567 (+53.2)	広島駅前大橋ルート整備事業の進捗や、民間の建築工事の受注が堅調だったことにより、 増収増益
セグメント利益	136	245	+109 (+80.2)	

	2024/3期	2025/3期	増減 (%)	主な増減要因
セグメント収益	854	865	+10 (+1.3)	ボウリング業・ゴルフ業ともにプレー料金の改定を行ったことや、ゴルフ業にて法人会員の種別新設等の各種施策を実施したことが寄与し、増収
セグメント利益	△38	△73	△34 (－)	2024年4月にオープンしたインドアゴルフ練習場の初期導入費用の影響により、減益

設備投資の状況（連結）



設備投資額の推移



主な設備投資実績（2025年3月期）

			(百万円)
広島駅前大橋ルート整備			2,783
「MOBIRY DAYS」開発及び車載器			1,625
5200形グリーンムーバーAPEX	2編成		1,040
乗合バス車両	31両		1,000
ICOCA簡易型端末			276
広電ゴルフリニューアル工事			106

2026年3月期 主な設備投資予定（連結）



主な設備投資予定（2026年3月期）

（百万円）

広島駅前大橋ルート整備	1,350
-------------	-------

「MOBIRY DAYS」開発及び車載器	550
----------------------	-----

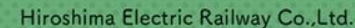
乗合バス車両	34両	1,019
--------	-----	-------

電車運行管理装置設置工事	832
--------------	-----

5200形グリーンムーバーAPEX	1編成	605
-------------------	-----	-----



▲広島駅前大橋ルート開業
（2025年8月3日予定）



2026年3月期 連結通期業績予想



(百万円)

	2025年 3月期実績	今回予想	増減 (%)	主な増減要因
売上高	33,709	35,560	+1,850 (+5.5)	運輸業では、移動需要の活発化や国内外からの観光需要の更なる取り込みに加え、2月に実施した運賃改定や、8月予定の広島駅前大橋ルート開業も寄与し増収を見込む。不動産業では、分譲マンション「ザ・広島フロント」の引き渡しによる増収を見込む。
営業利益	△1,419	△610	+809 (-)	修繕費や減価償却費等の経費が増加するものの、大幅な増収により、営業利益・経常利益は大幅増を見込む。
経常利益	△1,243	△420	+823 (-)	
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,379	1,350	△29 (△2.2)	特別損益において運行補助金や退職給付改定益が減少するほか、法人税等調整額の増加により、当期純利益は前年並みを見込む。

連結業績予想の前提条件



収入の見通し(セグメント別)

セグメント	収 入 対 前 年 比	備 考
運 輸 業	+7%	2025年2月実施の運賃改定による増収効果に加え、2025年8月予定の広島駅前大橋ルートの開業に伴う利用者の増加を想定
流 通 業	+2%	引き続き高速道路の交通量とともに来店者も増加することで、宮島サービスエリアの売上増を想定
不 動 産 業	+14%	分譲マンション「ザ・広島フロント」の販売収入による増収を想定
建 設 業	△16%	前年度に民間の建築工事の受注が増加したことに伴う減収を想定
レジャー・サービス業	+12%	ゴルフ練習場事業にて打席システムリニューアルに伴う料金改定等を実施することに加え、インドアゴルフ事業にてプランの新設やキャンペーンを実施することによる増収を想定

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

【問い合わせ先】

広島電鉄株式会社

経営管理本部 経理部 経理課

TEL 082-242-3542